

移住の前に

ゆ、ゆと

移住よりそいBOOK by 熱海



SHIZUOKA
ATAMI 

熱海でひと呼吸、入れよう

「熱海の魅力を伝える」以上に大切なことがある。

今の働き方や暮らし方に、
大きな不満はないけれど何だかもやもやしている。
ここではない場所を求めているのに正解がわからないー。

情報が流れるスピードや変化が激しい今、
私たちの日常は目まぐるしく過ぎていき、

「ほっ」とひと息つける時間が少なくなっています。

そんな時こそ一度立ち止まり、ひと呼吸入れてみてください。

熱海は都内から新幹線で50分。
豊かな自然があり、温泉があり、気軽にひと息つくにはぴったりの場所です。

熱海にはいいところがたくさんあります。
ですが、足りないところもあります。

本当に大事なのは、
「熱海に移住してほしい」と街の良さを並び立てることではなく、
移住を検討している方々が「なぜ移住したいのか」と向き合い、
自分や家族にとってより良い街や移住を選択できることです。

温泉に入ってひと息つくように、
一度立ち止まり、考える時間を作ってください。

この冊子をきっかけに価値観が広がったり、自分や家族と向き合えたり、
暮らし方や働き方を見つめ直す入り口になれば、とても嬉しいです。

移住を検討している人のためのチェックリスト

幸せな移住への第一歩は「移住を通して何を実現したいのか？」と自分の心と対話することです。
まずは、このチェックリストを通して自分と向き合ってみてください。

A まずはここからチェック！

- 移住したい理由が明確になっている。
- 「移住後はこんな暮らし方がしたい！」というイメージが鮮明にある。
- 理想の一日のスケジュールを楽しくサクサク書ける。
- 仕事の準備も、必要な資金の準備もバッチリ！
- 移住のタイミングは自分のライフプランに合わせて考えている。

Aのチェックが4個以上の場合

その調子！ 行動しながら精度をUPさせよう

自分の理想のライフスタイルにフィットする「地域・住まい・コミュニティ」を見つけるための行動に取りかかりましょう。興味のある地域に通ったり滞在して相性のいい「地域・コミュニティ」とつながると楽しくなりますよ。行動しながら「理想のライフスタイル」をより鮮明にしていきましょう。



<アドバイス>

楽しい未来を考えるためには、移住までのプロセスも楽しむことが大切！まずは、温泉に入って心身共にリラックスしてエネルギーチャージしてみるといいかも！

B チェックが少なくても焦らずに！

- 移住したい！だけど理由ははっきり言えず、モヤモヤしている。
- 「移住後はこんな暮らし方がしたい！」というイメージがぼんやりしている。
- 理想の一日のスケジュールは何となくあるものの、具体的にない。
- 仕事は何でもいいわけじゃないけれど、やりたいことも特にない。
- 近い将来移住したいが、具体的に行動に移せていない。

Bのチェックが4個以上の場合

もう少し！ まずは理想のライフスタイルを明確にしよう

自分らしく幸せな移住生活を実現するためには、理想のライフスタイルを明確にすることが大切です。それができたら、自分にフィットする「地域・住まい・コミュニティ」を見つけられるようになりますよ。まずは、一人でじっくりと「理想のライフスタイル」を考える時間を作りましょう。



<アドバイス>

ポイントは、自分の本音と向き合って「移住後の日常」を妄想してみることに。描いたりコラージュを作ったり可視化するといいですよ。まずは、温泉でほっと一息入れて心もほぐしてあげて。

C ゆっくり 状況把握をしよう

- 移住をすれば、人生が好転する気がしている。
- 自分らしい働き方、生き方をしている人に憧れる。
- 理想の一日のスケジュールを考えても浮かばない。
- いい仕事があったら移住したいと思っている。
- 条件のいい地域、いい物件があったら移住したいと思っている。

Cのチェックが4個以上の場合

心が眠っているかも！ 頭ではなく、心で感じるワクワク感を取り戻そう

「理想のライフスタイル」は自分の心が知っています。心が動かない時は、メリット・安さ・利便性など頭で考えて判断しがち。移住をして自分らしく幸せな暮らしを実現するためには、頭よりも心を動かせることが大事。自分はどんな時にワクワクしたり幸せを感じるのか、思い出していきましょう。



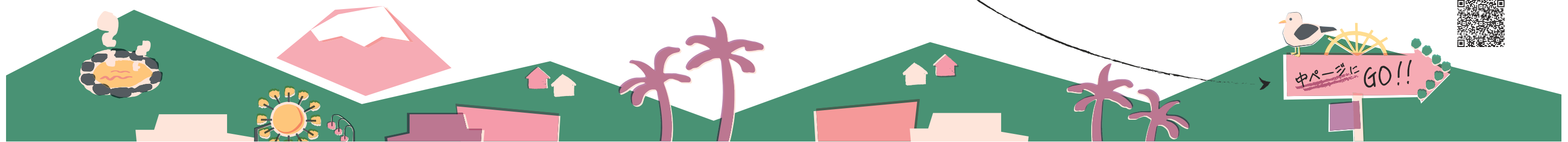
<アドバイス>

「どうすべきか？」と考えることはできるけれど「どうしたいか？」が分らない時は、心が眠っています。そんな時は温泉でボウボウと温まって、冬眠している心を起こしてあげてください。

資料提供：  Atami Style (しずおか移住応援団)



中ページにGO!!





Q. 移住するにあたって、みんなどんな不安を抱えているの？
A. 「仕事・コミュニティ」に悩む人が多いです。

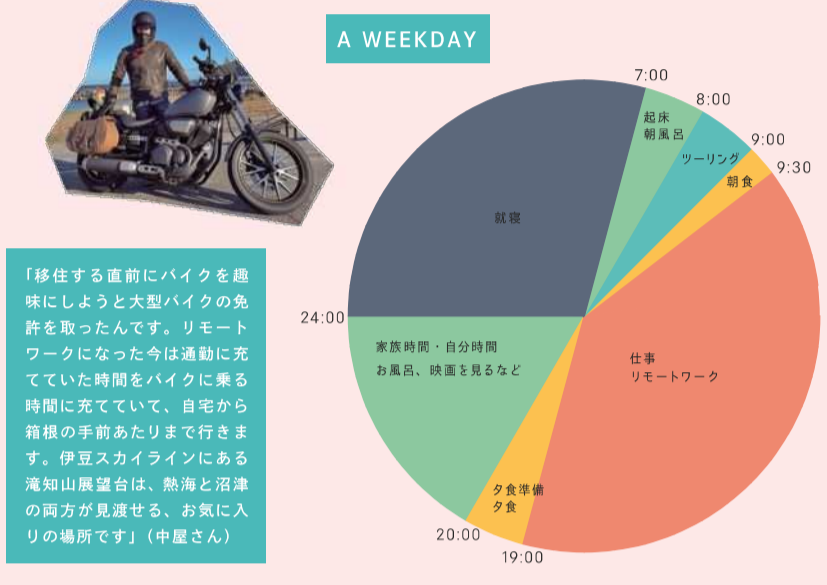
静岡県への移住を検討する方々に、移住にあたっての不安や懸念事項を尋ねたところ、「仕事が見つかるか」「移住先のコミュニティになじめるか」などの不安が多く挙げられました。他にも「交通機関の利便性」や「車の運転」を不安に思う方も少なくありません。これら懸念事項に関して、先輩移住者がどのように解決したのかをインタビューで触れていますので、一読ください。
 ※1：静岡県移住相談センター調べ



仕事は辞めず新幹線通勤という選択。
移住を機に変化した働き方、暮らし方

「元々変化を好むタイプではなく、40歳を過ぎて地元を離れる不安は正直ありません」と話す中屋さん。環境変化や仕事など、移住に伴う不安をどう乗り越えてきたのかを聞きました。
 「17年に熱海に移住しましたが、移住に際しては妻が主導で動き、私は主体的に物事を進めてきたわけではありませんでした。だからこそ、これまでのつながりや仕事の人間関係が切れてしまわないか、という不安はほど大きかったですね。ですが、熱海は新幹線で都内まで約50分の距離。通勤できるというのを知って、「何とかなるかもれない」と少年希望を持っての移住です。
 移住して一番大きく変わったのは仕事の仕方です。以前は仕事を時間だけでカバーする働き方でしたが、それが熱海へ移住してからは距離があるからこその「この新幹線に乗らないと起きる子供に会えない」「この案件は自分が行かなくて大丈夫だ」といった、時間管理や選択が重要になりました。仕事は変わっていきませんが、移住後の方がペースが早くなり、家族との時間が増えました。今はリモート勤務になったこともあって、子供に「おかしな」を言える生活がとて嬉しです。
 受け身ながらも、仕事や家族との向き合い方、人との付き合い方など少しずつ変化し、移住してから経てよう以前の暮らしが遠ざかったように感じます。今も不安がないわけではありませんが、熱海での

生活が回り回っている感覚があります。これからは家族と穏やかに暮らしたいです。上/家族と初島へ 下/滝山展望台からの景色

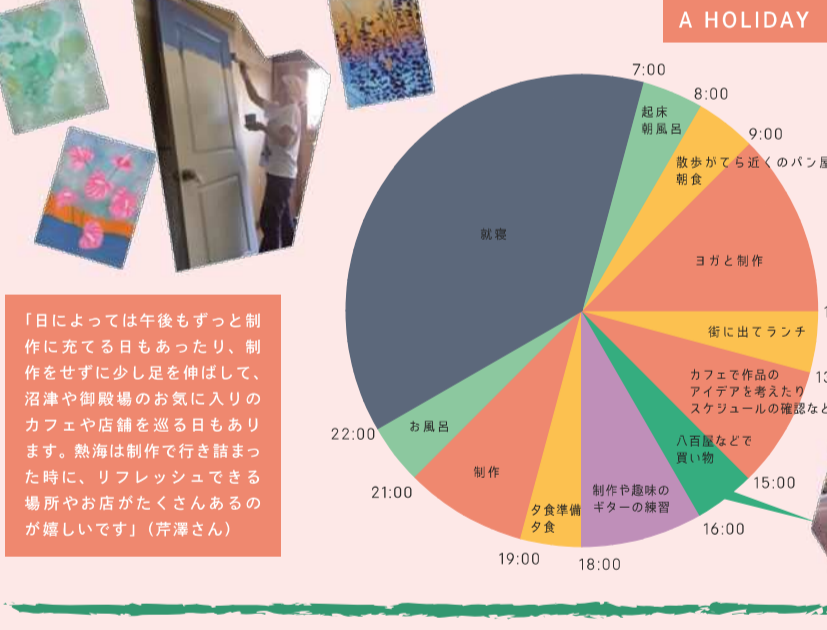


「移住する直前にバイクを趣味にしようとして大型バイクの免許を取ったんです。リモートワークになった今は通勤に充てていた時間をバイクに乗る時間に充てていて、自宅から箱根の手前あたりまで行きます。伊豆スカイラインにある滝山展望台は、熱海と沼津の両方が見渡せる、お気に入りの場所です」(中屋さん)

街や人とのつながりの先に見えた
熱海移住というかたち

「熱海は、は店舗やテマパークの特殊な装を行うインテリジェントな生活圏を誇り、アーティストやヨガ講師なども活動しています」
 「美大卒業後は音響師として働いていましたが、今年からは音響師として働いていました。移住するにあたっては、音響師としてのスキルを活かして、音響師としてのスキルを活かして、音響師としてのスキルを活かして...」

静岡県御殿場市出身。美大卒業後、大型施設や店舗の特殊塗装の仕事に携わる。2013年頃からアーティストイベント参加などを通して熱海での人脈を築き、2020年に熱海に移住。仕事は続けながら刺繍と絵画のアーティスト、アクセサリー作家、ヨガ講師としても活躍する。



「日によっては午後はずっと制作に充てる日もあったり、制作をせざるは足を伸ばして、沼津や御殿場のお気に入りのカフェや店舗を巡る日もあります。熱海は制作で行き詰まった時に、リフレッシュできる場所やお店がたくさんあるのが嬉しいですね」(芹澤さん)

熱海の生活にも慣れてきたので、これからも熱海や熱海周辺の人も広く深く関わって、理想の暮らしをさらに追求していきたいです。上/改装しながら利用している自宅アトリエ 下/移住後に企画したヨガイベント

Q. 熱海のおすすめの場所やお店が知りたいです！
A. 先輩移住者に教えてもらいました。

※新型コロナウイルスの影響で営業日・時間ともに変更の可能性がります

中屋さんのおすすめ!!
caffè bar QUARTO

 熱海に1ターンした店主が2017年に立ち上げたカフェバー。観光客、移住者、地域の方々など多様な人が行き交う、ふらっと立ち寄りたくなる地域の交流拠点。
 ・住所：静岡県熱海市銀座町10-19
 ・営業時間：10:00～18:00
 ・TEL：0557-81-2585
 ・休業日：木曜日+不定休

能勢さんのおすすめ!!
山田湯 (共同浴場)

 民家の一角にある源泉掛け流しの共同浴場。昭和30年頃に開業してから地域の方々に愛されている。レトロな雰囲気にも温泉にも癒される。料金は大人一人300円。
 ・住所：静岡県熱海市和田町3-9
 ・営業時間：8:00～10:30 (閉館11:00) 15:30～20:30 (閉館21:00)
 ・TEL：0557-81-9635
 ・休業日：不定休

芹澤さんのおすすめ!!
Le palais あたみパール

 2018年にオープンした、海沿いの渚町の路地裏にあるワインバー。お昼過ぎから営業しているの、明るい時間からおいしいワインをいただけるのが嬉しい。
 ・住所：静岡県熱海市渚町15-3
 ・営業時間：昼過ぎ～22:00
 ・TEL：090-2174-6614
 ・休業日：水曜日+不定休



“これから”を考えるきっかけに。
二拠点生活で日常が豊かに変化

平日は都内で働きながら、NPO法人「熱海キョリエーズ」の回を始める。週末は木こパレットを森林保全活動に取り組み、そんな友取さんです。
 「当時、私の働きすぎを見かねた夫の勧めもあって、熱海に物件を買ったんです。移住前は今の感覚が強く、目の前のことにばかり精一杯でした。移住してからは、多様な人たちの出会いや、仕事から離れる時間を持つことで、気持ちの余裕が生まれました。特に16年に熱海の自営型林業研修に参加したのが、熱海キョリエーズを結成して森林の活動を始めるきっかけになりました。林業は5年、10年先を見据えた産業だからこそ、自然と自分自身の未来にも思いが向くようになりました。元々熱海には縁ゆかりもなく、思い立って移住したことがありますが、生活する上で不便を感じたことはありません。車の運転はしませんが、電動自転車やバスを使えば移動もさほど困らない。無い無いならに工夫したり手段を見つけて出そうとする。移住してからは、都内にいる時も今日は「取っ手」など、生活に幅が広がった。それまでは、移動手段ひとつとっても、選択肢が多いように見えて実は固定化されていたんだ。同じような毎日をこなす日々だったんだ。感じました。コロナ禍で働き方も日々変化してきて、今は熱海にいてリモートで仕事をこなす。都内に出社してリモートで仕事をこなす。

平日は都内で働きながら、NPO法人「熱海キョリエーズ」の回を始める。週末は木こパレットを森林保全活動に取り組み、そんな友取さんです。
 「当時、私の働きすぎを見かねた夫の勧めもあって、熱海に物件を買ったんです。移住前は今の感覚が強く、目の前のことにばかり精一杯でした。移住してからは、多様な人たちの出会いや、仕事から離れる時間を持つことで、気持ちの余裕が生まれました。特に16年に熱海の自営型林業研修に参加したのが、熱海キョリエーズを結成して森林の活動を始めるきっかけになりました。林業は5年、10年先を見据えた産業だからこそ、自然と自分自身の未来にも思いが向くようになりました。元々熱海には縁ゆかりもなく、思い立って移住したことがありますが、生活する上で不便を感じたことはありません。車の運転はしませんが、電動自転車やバスを使えば移動もさほど困らない。無い無いならに工夫したり手段を見つけて出そうとする。移住してからは、都内にいる時も今日は「取っ手」など、生活に幅が広がった。それまでは、移動手段ひとつとっても、選択肢が多いように見えて実は固定化されていたんだ。同じような毎日をこなす日々だったんだ。感じました。コロナ禍で働き方も日々変化してきて、今は熱海にいてリモートで仕事をこなす。都内に出社してリモートで仕事をこなす。」



「週末は熱海キョリエーズの活動で山にいることが多いです。眠くて腰が重い日もあります。山に行くよりフレッシュして、また週明けから頑張るんです。仲間と会えるのも楽しみのひとつですね。移住後は休日でも平日と同じ時間に起きて寝るように、良い生活リズムが作れるようになりました」(能勢さん)

これからは働き方や暮らし方、価値観も変わっていくと思いますが、その変化を楽しみたいですね。上/自宅からの朝日 下/娘の週末のキョリエーズの活動

※年齢や店舗情報などは2021年12月時点のものです

熱海 市役所情報



熱海市では、「観光建設部 観光経済課 観光推進室」が移住相談を担当しています。熱海市は観光が地域にある街です。日常生活と観光が密接に関わる街の面白さを感じ、街を楽しんでくれる人が増えると嬉しいと思っています。ぜひまずはご相談いただいたり、気軽に熱海に足を運んでみてください。

お問い合わせ

熱海市 観光建設部 観光経済課 観光推進室
〒413-8550 熱海市中央町1-1
TEL : 0557-86-6371
E-mail : kanko@city.atami.shizuoka.jp

第一庁舎
3F
です

ゆとりすと静岡



静岡県では、WEBサイト「ゆとりすと静岡」で移住セミナー、空き家バンク、各種相談窓口など、静岡県への移住を考える際に役立つ情報を発信しています。

熱海市をはじめとする県内地域への移住をサポートする「しずおか移住応援団」の検索も出来ますので、ぜひご利用ください。

観光にまつわる情報



季節のお花の情報



花火大会



日帰り入浴施設

最後に

この冊子を手にとってくれたみなさま、まずはぜひ、熱海に温泉に入りに来てください。ゆっくり移住に関するいろんな情報を整理したり、自分に触れる時間を作ってみてください。熱海市はみなさまの来訪をいつでもお待ちしております。

熱海市の “今”がわかる情報



Twitter



Instagram



Facebook



メールマガジン



広報あたま



FM熱海湯河原
ラジオ放送



市役所の
担当部署の紹介



ゴミとリサイクル

暮らしに まつわる情報



妊娠・出産



市営温泉



防災情報